

新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針の前提

「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会」報告書より

1. 到達目標及び指導指針は、新卒者の就業の状況、安全な看護ケア提供に当たっての優先度を考慮し、病院において看護ケアを提供する看護職員を想定した。
2. 到達目標に含まれる内容は、看護職員として必要な姿勢及び態度並びに卒後1年間に新人看護職員が修得すべき知識、技術の目標とした。
また、新人助産師については、看護職員として修得すべき到達目標に加え、法で業務独占とされる助産を含む助産技術に関わるものも示した。
3. 指導指針に含まれる内容は、到達目標を達成するために必要な要件、指導方法等とした。
4. 到達目標及び指導指針の内容は、新人看護職員研修として実施されるべき基本事項として提示するものであり、各施設の多様性を踏まえつつできる限り広く活用できるよう考慮した。
しかしながら、施設規模、看護職員の構成、教育に係る予算等の状況から、各施設内での調整を行うことも必要である。
さらに、到達目標は、新人看護職員の受けた教育課程や教育内容、個人の資質等の背景を加味し、各施設で適宜、調整を行うことを想定した。
5. 各部署に特有な疾患とその症状及び治療・薬剤・検査・処置の理解と看護ケアに関する到達目標は、各施設において設定することを想定した。
6. 到達目標の作成に当たっては「看護学教育の在り方に関する検討会報告」、「看護基礎教育における技術教育のあり方に関する検討会報告書」等の看護基礎教育における看護技術教育のあり方に関する検討結果との連携を考慮した。

4

新人看護職員研修到達目標設定のプロセス(案)

到達目標を設定する上で考慮すること

- ・病院の施設規模
- ・病院の機能
- ・病院の理念
- ・看護部の理念
- ・看護職員の構成
- ・新人看護師を支える体制
- ・新人研修にかけられる時間・予算
- ・目指す看護師像(どんな新人に育ててほしいのか)

到達目標の検討手順

- ・項目
- ・詳細さ
- ・難易度
- ・到達時期

5